平成26年度

民俗資料館評価

岩出市民俗資料館

		く参考)	> 過去3年間	の状況	H26年度の目標		H26年度の状況				備考		
評価						H25年度実		H25年度実		== /			
項目		H23年度 実績値	H24年度 実績値	H25年度 実績値		績に対する 比率(%)		績に対する 比率(%)	目標 達成率(%)	評価			
	 指標項目	大順胆	大似吧	大順 (A)	口 1末 ie (B)	(B/A)	(C)	(C/A)	(C/B)				
1 施設利	用の促進に関して												
1	資料館入館者数	33,958	36,753	38,235	41,000	107.2%	39,148	102.4%	95.5%	В			
2	展示回数	9	8	11	12	109.1%	12	109.1%	100.0%	А			
3	報道機関等への資料提供数	18	16	33	35	106.1%	35	106.1%	100.0%	А	HPでの情報発信含む		
		〇現状(課題		-4	「1 施設利用の促進に関して」の全体評価 【達成】								
		・人館有数に る。	ま、目標に達	しなかったが	徐々に増え	てきてい	〇達成状況等 【A(66.7%)B(33.3%)】 ・入館者数は目標には届かなかったが、所蔵品展や収集資料品展						
		·今後、入館		ため、広報や		工夫すると	の実施によ	り、前年度	を上回った	0			
				も市民満足							料品展、企画展のほか、		
		心の資料館にとが課題。		小で悦だり、	同報収集で	凶つしいへ	ど、年間を追				根来塗受講生作品展示な		
				めの改善点			○課題及び		レイナカ	H • OD	ロば動を行い焦索器を増		
		関心や理解	いを担つ児里 をさらに深 <i>め</i>	・生徒・学生()てもらうため	-郷工の歴.	史・又化に 館などの					R活動を行い集客数を増 ウェブサイト・広報紙はもと		
		優れた展示	等の情報収	集に努め、学	習ニーズを		より報道機	関等を活用	し当館の目		る根来塗についてもさらに		
		えた展観や	歴史学習会・ 『必姿判館』	·講座等を開 して、また資	催する。 料館の活性	ルレ隹安	PRしていくが また、展示の			法兄 康(
											- 心えるべく、他の博物館 、展示物を引き立たせ『見		
		さらにPRし				· · · ·	せる』展示を						

岩出市民俗資料館 (平成27年3月現在)

		<参考> 湞			 H26年度	の目標	H26年度の状況				 備 考
評価						H25年度実		H25年度実		== /	
項目		H23年度 実績値	H24年度 実績値	H25年度 実績値		績に対する 比率(%)		績に対する 比率(%)	目標 達成率(%)	評価	
	指標項目	大假吧	大順胆	大 順但 (A)	口 1末 iE (B)	(B/A)	大 (C)	(C/A)	(C/B)		
2 資料の	収集及び保存に関して										
1	郷土資料購入点数	0	0	5	5	100.0%	5	100.0%	100.0%	Α	根来漆器購入
2	郷土資料寄贈点数	18	8	15	20	133.3%	17	113.3%	85.0%	В	民具
		〇現状(課題等も含め) ・展示の入れ替えが可能になるよう資料収集事業計画に 基づき資料(根来塗)の購入を行っている。 ・収集資料に関しては、方向性やテーマを定め募集していく ことが課題。 ・収集資料の寄贈は、目標値には少し及ばなか・サイトに加えチラシを配布したことにより、市内を所蔵点数充実させることができた。							入し、展示内容を拡充すなかったが、広報・ウェブ		
		基づき「根来・民具・古写 テーマを定め	ル替えが可能 ・塗」の購入る 真等郷土資 り募集してい	になるよう賞を行う。 を行う。 料の収集に聞く。	賢料収集事業	削削に 向性や	より点数を研 ている。特に 手に触れて は程度の良	として保存 催保してきた 、所蔵品原 体験するない い民具を収 いくことによ	cが、民具な そで展示す どの企画は な集すること	などの郷 る場合、 は難しい(を念頭)	塗については購入計画に 土資料はまだまだ不足し 完動品が殆どなく実際に のが現状であるから、今後 こ置くことに加え、珍重品 んで、満足度を向上させ

		く参考)	> 過去3年間	の状況	H26年度	の目標	H26年度の状況				
評価						H25年度実		H25年度実	H26年度		
項目		H23年度	H24年度	H25年度		績に対する		績に対する	目標	評価	
	45.1# -T D	実績値	実績値	実績値		比率(%)		比率(%)	達成率(%)		
2 屋二.章	指標項目 構演会に関して			(A)	(B)	(B/A)	(C)	(C/A)	(C/B)		
	秋季企画展入館者数	7.016	E 202	6 205	6 500	103.3%	6,189	98.3%	95.2%	l ₀	
		7,016	5,303	6,295	6,500						7 CP (+
_	文化協会作品展示入館者数	7,873	6,877	7,812	9,000		8,212	105.1%	91.2%		7団体
_	根来塗講座受講生作品展示入館者数	5,465	7,359	8,237	8,500		6,595		77.6%		期間中の悪天候による来館者の減
(4)	所蔵品展入館者数	0	0	3,017	3,200	106.1%	3,035	100.6%	94.8%	В	
_	収集資料品展入館者数	0	0	16,870	41,000		39,148		95.5%		平成25年度展示期間10/30~3/31 平成26年度展示期間 4/1~3/30
_	歴史講座(年2回)参加者数	183	149	174	180		135		75.0%		
_	秋季企画展講演会参加人数	50	47	85			40		44.4%		
(8)	報道機関への資料提供数	24	24	37	40	108.1%	39 「3 展示・講		97.5%		HPでの情報発信含む 【達成できていない】
		資料品展を ・その他に文 生作品展示 団体は増え	実施している (化協会各団 を行っている ていない。 2・文化につし	体の作品展 。しかし文化 いての学習=	示や根来塗 :協会作品展 :一ズに応え	講座受講 そまの参加	〇達成状況 全体的に展 全体的には	示·講演会	の目標値に	こ前年度	を上回ったものもあるが、
		他の資料館等を歴史講する。・秋、「ふるとします」ので、「かるという」である。	文化に関心などの優れが事業の充実をこついては、こと」をテーマとでは、市内と出と学校にと連携して、	や理解をさられている。 では、	に深めても たり、情報は 望が多かっ を実施する。 での歴史にな	らうため、 収集を図り った「根来 ペポットをあ 企画展を	備を行い、原で多数も関ができないきない。 をしてきないきない。 会後は、といい。 と、、観たり間	を踏まえて展示内容も、めの言葉頂係機関へのたことにて発の方法に関きたくなる。	充実させた 見くなど高評 啓発数を増 いては課 加え、ポス と思わせる	のが功を 「価を得る 自加した」 題が残る ター・チ・ 見栄えに	こついては前倒しによる準 を奏し、アンケートや会場ることができた反面、昨年 ることができた反面、昨年 こも関わらず集客の確保 っ。 ラシの内容やレイアウトな こ仕上げるなど工夫をする の確保を目指す。

岩出市民俗資料館 (平成27年3月現在)

		く参考)	> 過去3年間	の状況	 H26年度	の目標	H26年度	の状況			備 考
評価 項目	 	H23年度 実績値	H24年度 実績値	H25年度 実績値 (A)		H25年度実 績に対する 比率(%) (B/A)		H25年度実 績に対する 比率(%) (C/A)	H26年度 目標 達成率(%) (C/B)	評価	
4 学校教	育への積極的な支援に関して	•			, ,						
1	歴史学習会(年3回)参加人数	41	58	81	90	111.1%	78	96.3%	86.7%	С	平成24年度までは、歴史ウォーキング&自然 観察体験学習として実施
2	学校利用受入、児童生徒利用	936	542	715	850	118.9%	466	65.2%	54.8%	С	3校 (根来小·中央小·岩出中)
3	報道機関等への資料提供数	2	2	6	8	133.3%	8	133.3%	100.0%	Α	HPでの情報発信含む
		○現状(課題 ・市内在住 <i>0</i>		†象として、夏	休み期間中	に「子ど	「4 学校教育 【達成でき		i的な支援に 】	こ関して」	の全体評価
		も歴史学習:	会」を2回実施	施している。 。 しているが参	また、9月に	は「子ども	〇達成状況	等【A(34 、学校利用			用については目標には届
			養極的な広 報	が課題。			13.76.13.7512.6				
		・小学生を対 月の2回実施 市民の方に した「歴史学	け象に「夏休なをする。またをかしてもらいまた」とない。またらいではのままでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	9月の学習会 えるよう、今 実施する。 は、小学校3、 する。また、ほ 」をテーマとし 台出図書館等	学習会」としまたのいては年度は成人 4年生で学 2000年度に成人 2000年で学 2000年で記載した企画展を	て7月、8 て7月、8 を対象に 習する「昔 で実施する	いてもアング 象とした「夏 原因で、参加 母・児童から 一定の評価	とした歴史: rートの結り 休みこども 旧者の日程 いは好評をそ ができると	₹で高評価 歴史学習会 調整がつか 得ることがで 考えている	を得るこ 会」は台屋 かずに減 できたの が、季節	も概ね確保でき、内容につとができたが、小学生を対 』の影響で順延したことが 員となった。参加した父 で、実施内容については 「柄天候の影響を踏まえた